

2009年5月期第2四半期決算概況

地球温暖化防止に、インテリアができること。



住江織物株式会社

SUMINOE

目次

- P. 1 .. 表紙
- P. 2 .. 目次
- P. 3 .. 2009年5月期第2四半期業績
(連結業績・事業セグメント内訳・B/S C/F・業績の推移)
- P. 11 .. 2009年5月期見通し
- P. 12 .. 中期経営計画「ACTION-2008」
- P. 14 .. 配当および設備投資
- P. 15 .. トピックス
環境フォーラム2008開催
住江織物特集番組 TV放送
環境にやさしい商品
- P. 19 .. 会社概要

<本資料に関する注意事項>

本資料記載の予想は、将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる場合があります。

2009年5月期第2四半期 (08/6~11月)業績

Profit and loss statement

【連結】	当第2四半期	前年同期	前年同期比 (%)	前年同期比 (増減額)	08年10月6日付修正予想		期初計画	期初計画比 (%)
					修正予想比 (%)	修正予想比 (%)		
売上高	40,981	40,919	100.2%	62	40,000	102.5%	41,500	98.7%
営業利益	464	1,266	36.7%	△802	200	232.0%	1,160	40.0%
営業利益率	1.13%	3.09%			0.48%		2.80%	
経常利益	599	1,253	47.8%	△653	300	199.7%	1,240	48.3%
経常利益率	1.46%	3.06%			0.72%		2.99%	
当期純利益	44	612	7.2%	△568	△200	-22.0%	680	6.5%
当期純利益率	0.11%	1.50%			-0.48%		1.64%	

連結売上高は前期比微増の409億円

【連結売上高】

国内外ともに厳しい事業環境のなか、国内はインテリアが前年同期比で減収、自動車・車両内装は微増で推移し、海外では米国子会社STAの自動車内装材の売上が拡大したため、全体的には前年同期をわずかに上回る結果となりました。

【連結営業利益】

原油価格高騰による原材料および物流コストの増加や米国子会社の収益悪化、10月以降の急激な市場環境の悪化などが影響し、前年同期比で8億円減の4億6千4百万円となりました。

連結経常利益は前期比6.5億円減の5億9千9百万円

【連結経常利益】

持分法適用会社であるタイの自動車内装材製造拠点や長崎のエアバッグ製造会社が収支改善し、持分損益が前年同期比1億8千万円増の2千9百万円となったものの、全体的には営業利益の減益が響き、前年同期比6億5千万円マイナスの5億9千9百万円となりました。

3

連結業績の事業セグメント別内訳

Segment information

【売上高】	当第2四半期	前年同期	前期比	
			(増減額)	(%)
インテリア	17,803	18,756	△952	94.9%
自動車・車両内装	19,845	18,792	1,052	105.6%
その他	3,333	3,370	△37	98.9%
合計	40,981	40,919	62	100.2%

【営業利益】	当第2四半期	前年同期	前期比	
			(増減額)	(%)
インテリア	226	480	△254	47.1%
自動車・車両内装	737	1,314	△576	56.1%
その他	234	235	△1	99.6%
消去	△734	△764	30	
合計	464	1,266	△802	36.7%

4

インテリア事業分野

【インテリア事業】

前年同期比9.5億円減収、2億5千万円減益

景気の低迷により建設業や不動産業の倒産が相次ぎ、オフィスビル・商業施設の新規工事やリニューアル工事がともに減少、一般消費者向けの市場も消費マインドが大きく冷え込んでおり、非常に厳しい事業環境となりました。そのようななか、環境にやさしい商品として好評のリサイクルタイルカーペット「SG-300」に続き「SG-400」を新たに発売、家庭用ラグマットでも消臭効果をアップした「トリプルフレッシュⅡ」や「アレルバスター」などの機能性を充実した新商品を投入するなど、製造から販売までグループ各社の総力を挙げてブランド事業を積極的に展開したものの、売上・利益ともに前年同期を下回る結果となりました。



コア事業である
カーペットを中心に
カーテン、壁紙等を販売

連結売上高178億3百万円
(前年同期 187億5千6百万円)

連結営業利益2億2千6百万円
(前年同期 4億8千万円)

■新商品

【リサイクル繊維「スミロン®」を使ったカーペット】



ロールカーペット
“エコロア100”



タイルカーペット
“SG-400”

【トリプルフレッシュ®消臭加工商品】



ラグマット
“HOME”



空気を洗う壁紙®TF-V
“リフォームプロ1000”

自動車・車両内装事業分野

【自動車・車両内装事業】

前年同期比10.5億円増収、5億7千万円減益

（自動車内装分野）

景気後退による個人消費の冷え込みから世界規模で自動車販売台数が減少し、内装材需要も縮小するなかで、価格競争激化と低価格帯商品への需要シフトが顕著になる厳しい状況でした。国内では当期初より市場でのシェアを拡大しておりましたが、10月以降の経済情勢の激変により、売上高は前年同期比微増、利益面でも原材料やエネルギー価格の高騰により減益となりました。海外では、米国STAが売上を伸ばしたものの、収支面での改善が遅れ増収大幅減益となりました。中国SPMIは、シート表皮材の生産を伸ばし、売上、利益面ともに順調に推移し、増収増益となりました。



フロアカーペット、シート表皮材、天井表皮材等、自動車内装材をトータルで供給

（車両内装分野を合わせた連結業績）

連結売上高198億4千5百万円
(前年同期 187億9千2百万円)

連結営業利益7億3千7百万円
(前年同期 13億1千4百万円)

■第2四半期営業実績



トヨタ IQ



マツダ ビアンテ



日産 GT-R



スズキ ワゴンR

自動車・車両内装事業分野／その他の事業分野

【自動車・車両内装事業】 （車両内装分野）

「安全と環境」と題したプレゼンテーションを実施し、リサイクル性に優れたポリエステルシートクッション材、「スミキューブ・e」等の環境にやさしい商品の拡販に積極的に努めた結果、売上、利益ともに前年同期とほぼ同水準となりました。



鉄道・バスにシート表皮材やカーペット、リサイクル性に優れたシートクッション材「スミキューブ・e」等を販売

■第2四半期営業実績

【自動車・車両内装事業分野（車両）】



山形新幹線E3系2000番台



西鉄バス



JR東日本「スミキューブ・e」と表皮材を納入

【その他事業】

売上・利益ともに前年同期とほぼ同水準を維持

ホットカーペット事業は受注量を大幅に伸ばし、製造拠点である蘇州住江織物有限公司の生産も順調に推移して収益に貢献しました。OEM事業では国内は低調だったものの、輸出は順調に伸び、また航空機向け内装材の売上が堅調に推移したため、全体的には売上・利益ともに前年同期とほぼ同水準となりました。

その他の事業分野連結業績

連結売上高33億3千3百万円
(前年同期 33億7千万円)

連結営業利益2億3千4百万円
(前年同期 2億3千5百万円)

連結B/S・連結C/F

Balance sheet

連結 B/S	前 期 第2四半期	当 期 第2四半期
総資産	78,356	77,923
現預金	6,005	6,728
売上債権	23,156	23,788
たな卸資産	9,884	11,272
その他の流動資産	3,445	3,614
固定資産	35,866	32,521
総負債	49,451	51,779
短期借入金および 一年以内償還社債	9,949	10,054
長期借入金・社債	5,588	5,732
その他の負債	33,914	35,993
純資産	28,905	26,144
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	6,472	6,284
その他の純資産	9,925	7,270
少数株主持分	302	384

Statement of cash flows (単位:百万円)

連結 C/F	前 期 第2四半期	当 期 第2四半期
営業活動によるC/F	9	△2,615
投資活動によるC/F	△198	△347
財務活動によるC/F	△553	764
換算レート変動の影響	1	△33
期中の増減額	△740	△2,231
期首の現金残高	6,746	8,960
期末の現金残高	6,005	6,728

【主な要因】

10月に起こった経済情勢の急変により売上が減少したため、製品を中心とした国内のたな卸資産が増加。米国でもSTAの売上拡大に伴う在庫の増加があったため、前年同期比13億8千万円増となりました。

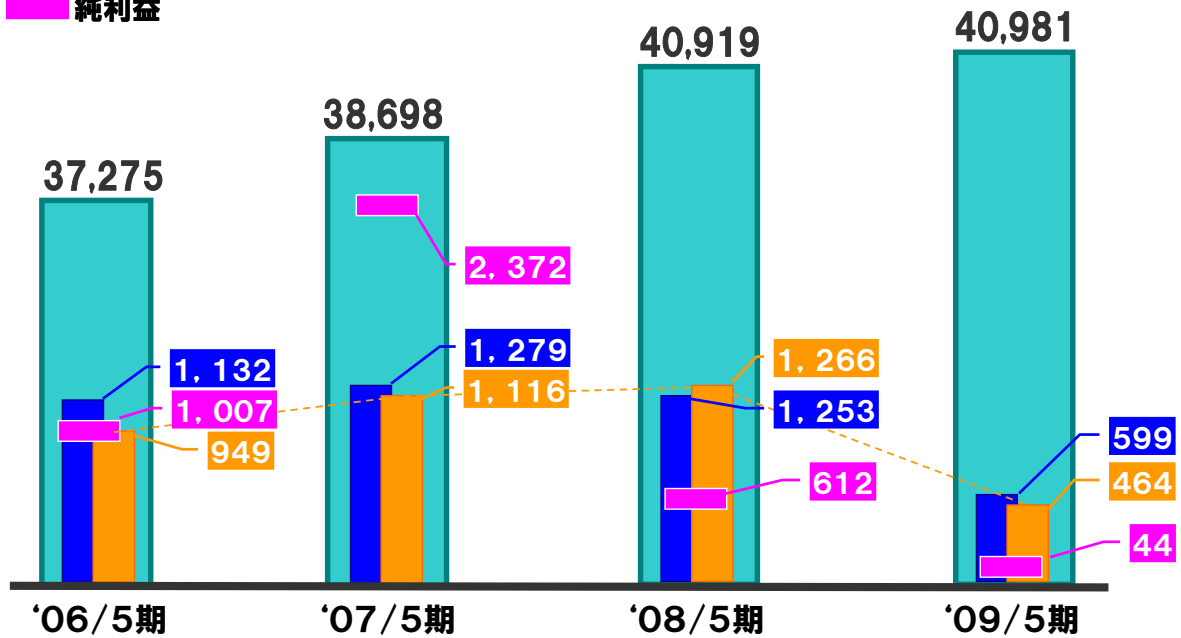
11月末が金融機関休日で決済が12月となったため、その他の負債のうち支払手形および買掛金が前年同期比23億円増となりました。

所有する有価証券の株価が下落したことにより、その他の純資産のうち有価証券評価差額金が前年同期比25億円減となりました。

連結業績の推移(第2四半期実績)

- 第2四半期売上高
- 営業利益
- 経常利益
- 純利益

(単位:百万円)

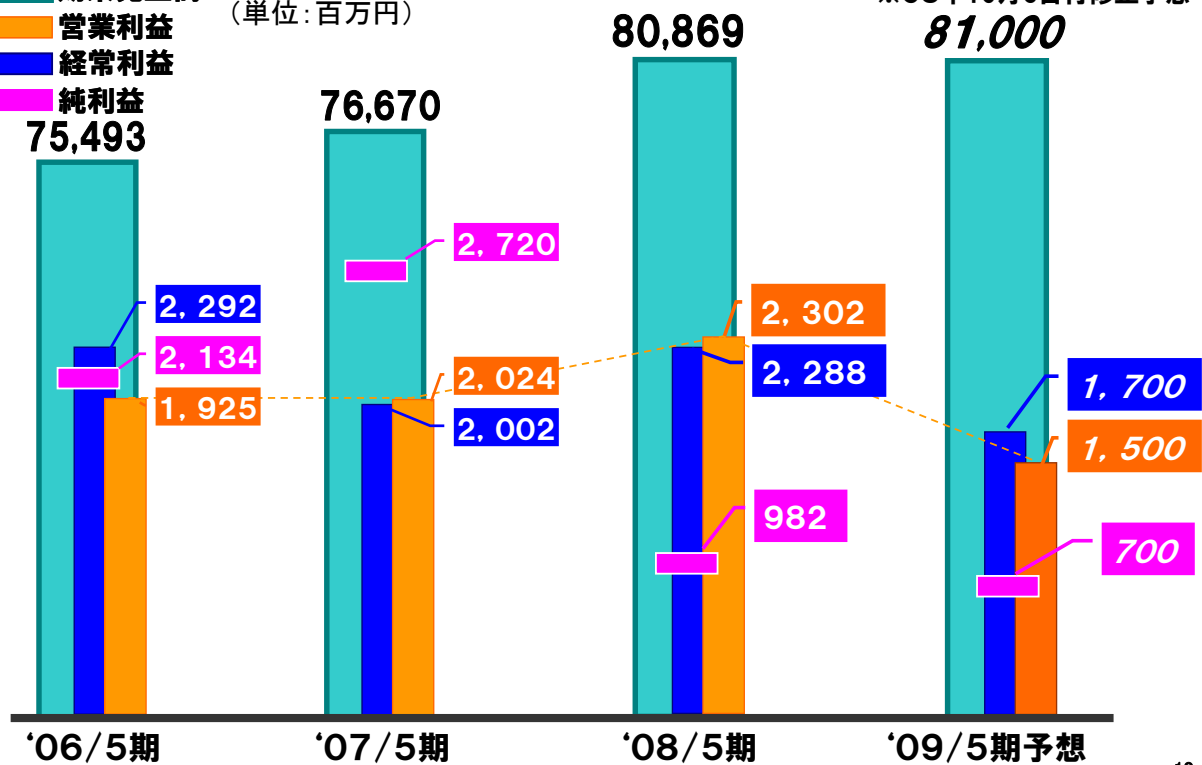


連結業績の推移

- 期末売上高
- 営業利益
- 経常利益
- 純利益

(単位:百万円)

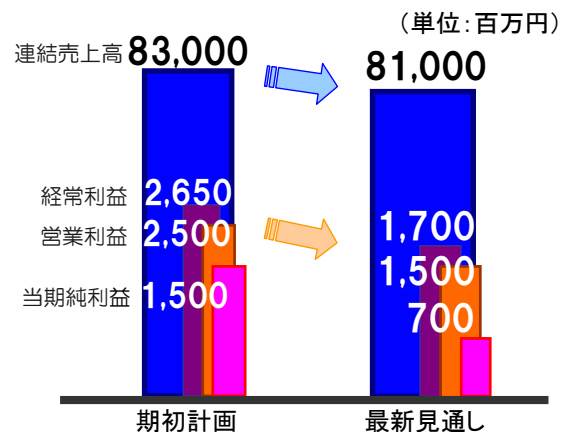
※08年10月6日付修正予想



2009年5月期見通し

09年5月期見通し

- 連結売上高 810億円
- // 営業利益 15億円
- // 経常利益 17億円
- // 当期純利益 7億円



連結売上高は期初計画830億円から810億円へ

米国発の金融危機から実体経済における世界規模での景気後退が起こり、底入れ時期の見えない先行き不透明な状況が続いております。当社では、今後も景気下振れの可能性が高い情勢を鑑み、期初計画を見直し、売上・利益ともに下方修正を行いました。今後の課題としましては、期初計画より利益面で大きく下回っている米国STAの建て直しを急務とし、国内では、収縮経済下に対応したローコストオペレーション体制と利益体質の構築を製造・販売一体となって取り組み、当初計画値へ少しでも近づけるよう利益創出に尽力いたします。

中期経営計画 “ACTION-2008”

中期経営計画“ACTION-2008”は、「事業体質の強化」と「収益基盤の拡充」を基本方針とし、最終年度2009年5月期の連結売上高800億円を最終目標に2006年6月よりスタートしました。

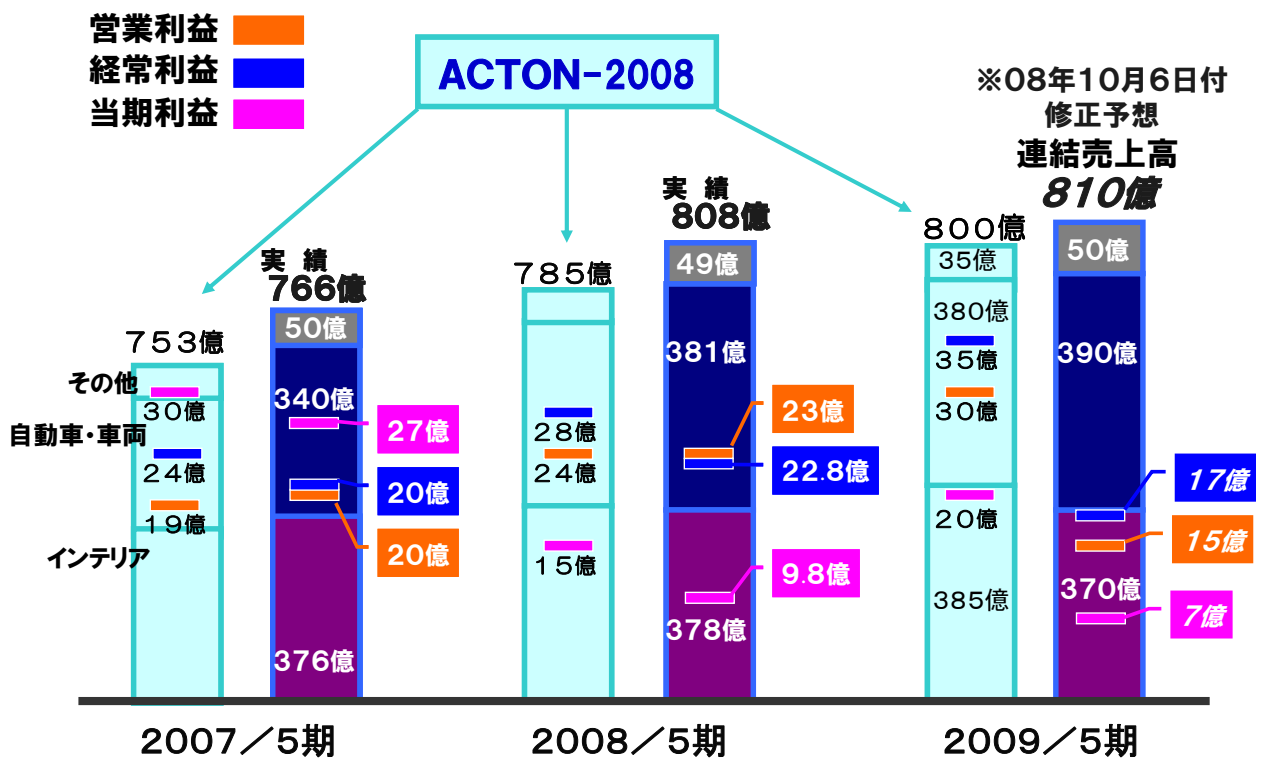
【主な目標】

- 連結売上高800億円
⇒08年5月期で売上高800億円達成
- 「インテリア内装資材」と「自動車・鉄道車両内装資材」の比率を50%：50%に
⇒08年5月期で達成
- 09年5月期までに営業利益率3.5%以上
⇒今後も継続して早期達成を目指す
- 09年5月期までに売上高に占める海外売上高は10%以上
⇒09年5月期第1Qでクリア
- 3年間で20億円の有利子負債圧縮
⇒08年5月期でクリア
- 自己資本比率38%
⇒所有する有価証券の下落で達成困難となったが自己資本の増強を今後も図っていく

中期経営計画ACTION-2008 数値目標

	07/5月	08/5月	09/5月
売上高	753億	785億	800億
営業利益	19億	24億	30億
経常利益	24億	28億	35億
当期利益	30億	15億	20億
売上高営業利益率	2.5%	3.0%	3.7%
自己資本当期純利益率	11.6%	5.4%	6.8%
総資産経常利益率	3.2%	3.6%	4.4%

中期経営計画 “ACTION-2008”



配当および設備投資

■09年5月期 株主配当について

1株につき、
 中間配当 2円50銭
 期末配当 2円50銭 年間5円を予定しております。
 (07年5月期実績 年間5円、08年5月実績 年間5円)

■設備投資について

中期経営計画(06年6月～09年5月)では総額40億円の設備投資計画を策定しております。昨今の経済情勢の急変に対応し、当期設備投資については見直しを図ったものの、概ね当初計画通り推移しております。

	中期経営計画 3ヵ年総額	実績及び見通し 3ヵ年合計	07年5月期 実施額	08年5月期 実施額	09年5月期 見通し
国内	24億円	19.5億円	10億円	6.5億円	3億円
海外	12億円	15億円	6億円	4億円	5億円
IT投資	4億円	3億円	-	1.5億円	1.5億円
合計	40億円	37.5億円	16億円	12億円	9.5億円

【09年5月期の主な設備投資】

- 米国STA 自動車内装材製造設備拡充 3億円
- 中国SPM " 2億円
- IT投資 1.5億円

※09年5月期
期初計画額12億円

環境フォーラム2008を開催

洞爺湖サミットが開催され、環境問題への関心が国際的に高まるなか、住江グループは昨年10月に、環境フォーラム2008を開催いたしました。

「地球温暖化防止に、スミノエができること」をサブタイトルに、住江グループの環境対策への考え方・行動方針を発表、合わせて当社の得意とする環境にやさしい商品をアピールいたしました。



女優でありエコロジストでもある益戸育江(高樹沙耶)さんにご挨拶いただきました



リサイクルタイルカーペット SGシリーズ



説明風景

住江織物の特集番組をTV放送

‘08年12月、「夢のリサイクルカーペットを作った男たち」と題した住江グループの特集番組をBS朝日にて放送いたしました。

環境にやさしい繊維として高い評価をいただいているペットボトルリサイクル繊維「スミロン®」の開発秘話を中心に、当社グループを紹介した内容です。



ナビゲーターは環境フォーラム2008でもご挨拶いただいた益戸育江(高樹沙耶)さんです。

環境にやさしい商品

○インテリア分野



ペットボトルリサイクル繊維



トリプルフレッシュ®消臭加工インテリア商品



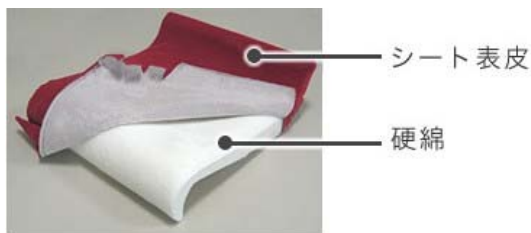
リサイクルタイルカーペット



エコマークカーテン

環境にやさしい商品

○自動車・車両内装材分野



リサイクル性に優れたシートクッション
「スミキューブ・e」



トリプルフレッシュ®消臭加工
シート表皮材・天井表皮材



軽量・吸音カーペット



EK-WAGON MITSUBISHI
エコテックス規格100認証 内装材

会社概要

正式社名	住江織物株式会社 (Suminoe Textile Co., Ltd.)
本社住所	大阪府中央区南船場3-11-20
設立年月日	1930年12月26日 (創業1883年)
代表者氏名	吉川 一三
資本金	95億5千4百万円
従業員数	連結1,981名 単独396名 (2008年11月末現在)
上場市場名	東京(1部) 大阪(1部)
東証業種名	繊維製品
ISO取得状況	
	ISO14001 奈良事業所、大阪事業所、滋賀事業所
	ISO9001 奈良事業所、大阪事業所

沿革

1883年	大阪住吉で手織り織物の製作を始める
1891年	国会議事堂にカーペットを納入
1896年	手織りによるワナモケットの製作に成功、国鉄に採用される。
1913年	住江織物合資会社を設立
1930年	住江織物株式会社を設立
1949年	株式上場
1954年	国内初タフティングカーペット機を導入
1955年	国産軽自動車の草分け「フライング・フェザー」を製作・販売
1958年	自動車用カーペット、シート表皮材の生産を始める
1980年	国内初のタイルカーペット生産を奈良工場で開始
1994年	タイに自動車内装材の製造販売会社を合併で設立
1998年	消臭技術「トリプルフレッシュ®」を開発 ISO9002登録 インテリア商品の販売会社 株式会社スミノエを設立
2003年	米国に自動車内装材の製造販売会社を設立 中国にホットカーペット製造販売会社を設立 中国、インドネシアに自動車内装材の製造販売会社を合併で設立
2004年	奈良工場を住江奈良株式会社として分社設立 長崎県にサイドカーテン・エアバッグの製造販売会社を合併で設立
2005年	中国 広州市に自動車内装材の製造販売会社を合併で設立
2007年	インド ALPS社と自動車内装材分野で業務提携

主な営業品目

インテリア内装材

- 床材
各種カーペット
各種ラグマット
硬質床材・ウッドフロア
フリーアクセスフロア 他
- カーテン
各種カーテン
ローマンシェード
カーテンレール・アクセサリ
- 壁紙
- 美術工芸品織物
緞帳・各種施設用諸幕
タペストリー
テーブルセンター
他、美術工芸小物

自動車・鉄道車両内装材

- 自動車内装材
カーペット
シート表皮材
天井表皮材
自動車用品（オプションマット
他）他、自動車内装材全般
- 鉄道車両内装材
シート表皮材
カーテン
カーペット
シートクッション
広告宣伝シート 他

その他

- ナッセンジャープリント
顔料プリント 遮水シート
床暖房 福祉機材
空気消臭清浄機 他

国内外の主なグループ会社

